

「目で見える栃木県の医療費状況」について

1. はじめに

- ・令和5年度作成分の「目で見える栃木県の医療費」については基準年度を令和4年度としています。
- ・単年度分のグラフ等については、基準年度の値を示しています。
- ・5年分のグラフ等については、基準年度を含む過去5年分の値を示しています。
※「2-1被保険者数の推移」を除く
- ・1人当たり医療費等で特に記載が無い場合、金額の単位は「円」になります。
- ・令和元年度より、「目で見える栃木県の医療費状況」はKDB(国保データベース)システムのデータを基に作成しています。以下の2点にご留意の上、ご活用ください。
 - ①国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析」では、主傷病名を「最大医療資源」(医療のレセプトデータから最も医療資源(診療行為、医薬品、特定器材)を要したもの)の考え方にに基づき決定し、レセプトの決定点数は、主傷病名の医療費として集計しています。(複数の疾病を有する場合であっても、一つの主傷病名の医療費として集計されています。)
 - ②医科、歯科、調剤の電子レセプトが対象であり、入院時食事療養費(生活療養費)及び療養費は対象外となっています。(調剤は医科または歯科と突合できたレセプトのみ対象)
また、国保データベース(KDB)システムの仕様により、歯科に係る医療費は全て外来分として計上されています。

2. グラフの読み方について

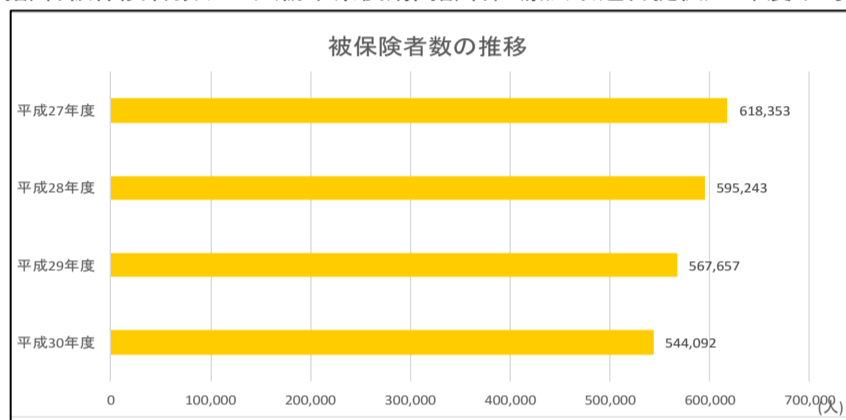
2-1 被保険者数の推移

【説明】

- ・各保険者等における被保険者数の4年間(基準年度-1年度まで)の推移を示しています。

【出典】

- ・国民健康保険事業状況報告書(事業年報)の年度平均を使用
- ・後期高齢者被保険者数データ(栃木県後期高齢者医療広域連合提供)の年度平均を使用



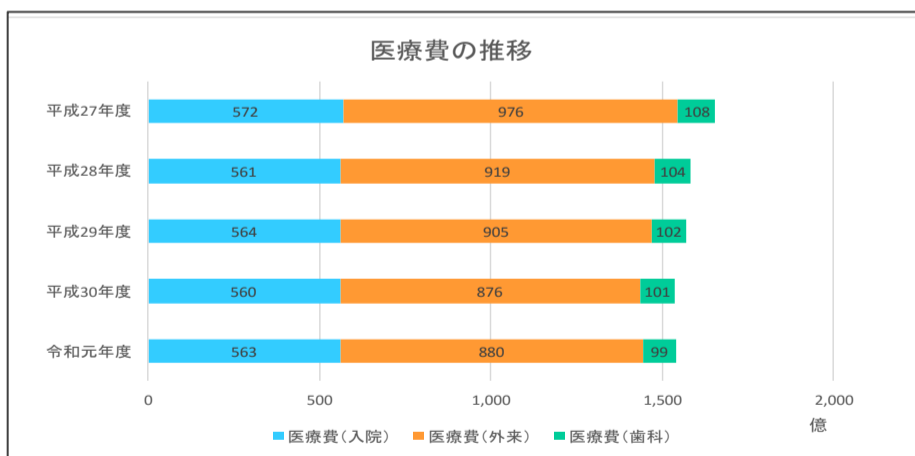
2-2 医療費の推移

【説明】

- ・各保険者等における医療費(入院・外来・歯科)の5年間の推移を示しています。
- ・金額の単位は「億円」になります。

【出典】

- ・国保データベース(KDB)システム「市区町村別データ」



2-3 1人当たり医療費の推移

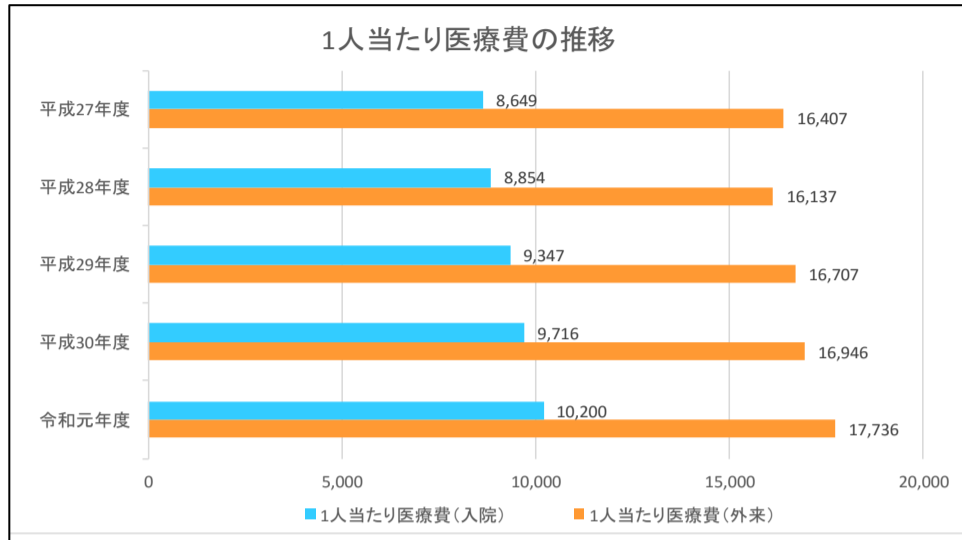
【説明】

- ・各保険者等における1人当たり医療費(入院・外来)の5年間の推移を示しています。
- ・「1人当たり医療費」は、以下の方法で算出した「ひと月当たりの医療費」です。

算出方法：各年度の月平均医療費(月額)÷月平均被保険者数

【出典】

- ・国保データベース(KDB)システム「市区町村別データ」



3. 疾病別(大分類/中分類/生活習慣病/細小分類)1人当たり医療費(単年度分)

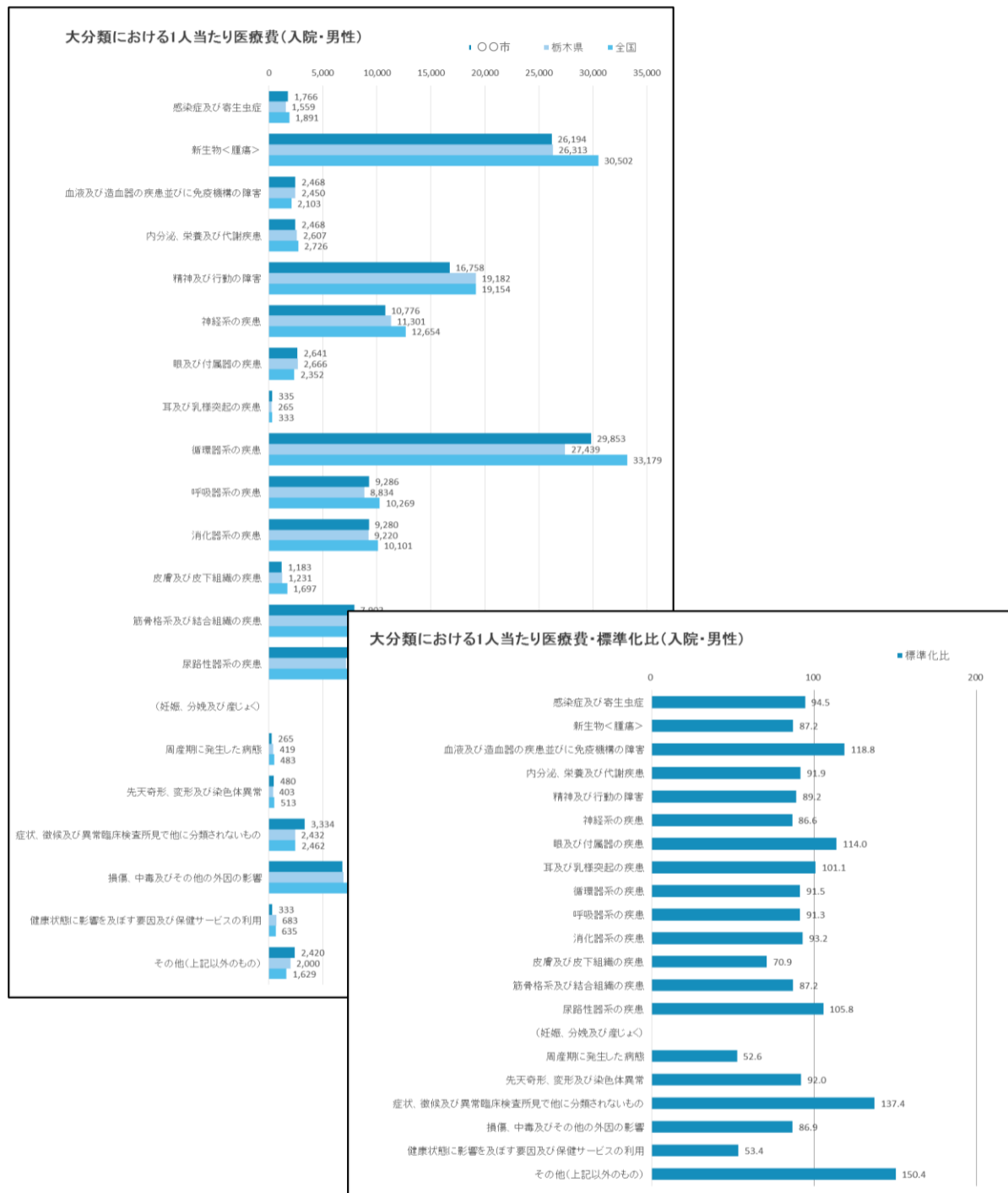
3-1 疾病別(大分類)における1人当たり医療費(男女別、入院外来別)

【説明】

- 各保険者等における健康課題の把握に資するため、基準年度での疾病別(大分類)における1人当たり医療費を男女別、入院外来別で示しています。
- 「1人当たり医療費」は、(各年度の年間医療費/各年度末の被保険者数)で算出しています。
- 疾病別に各保険者等/栃木県/全国の値を表示し比較可能としています。
- 区分(男女/入外)ごとに標準化比を示すグラフを設けており、各保険者等における各項目値を全国値と比較した場合の高低差を読み取ることができます。
(標準化比が100を超える場合は全国よりも高い)

【出典】

国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(大分類)」



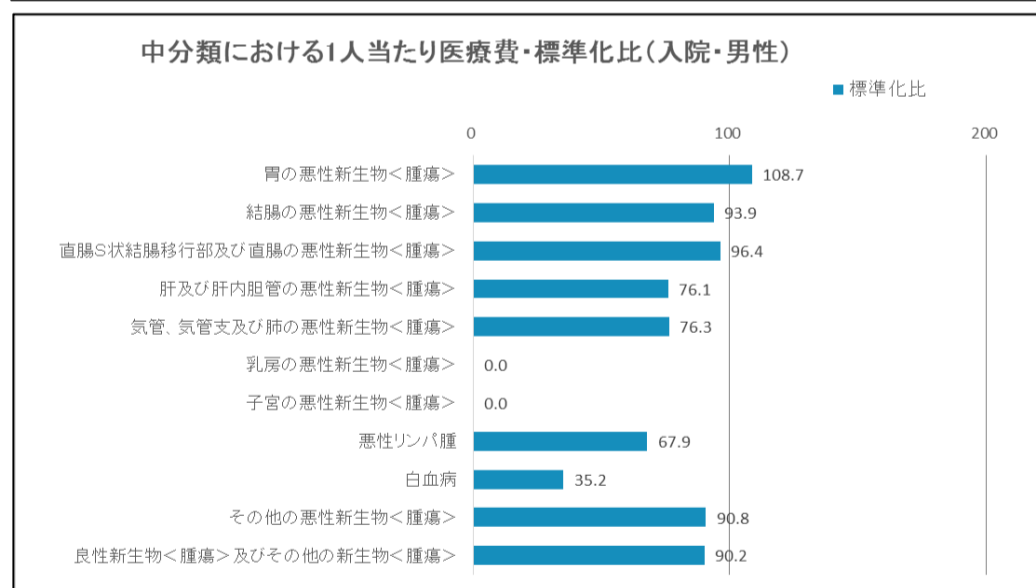
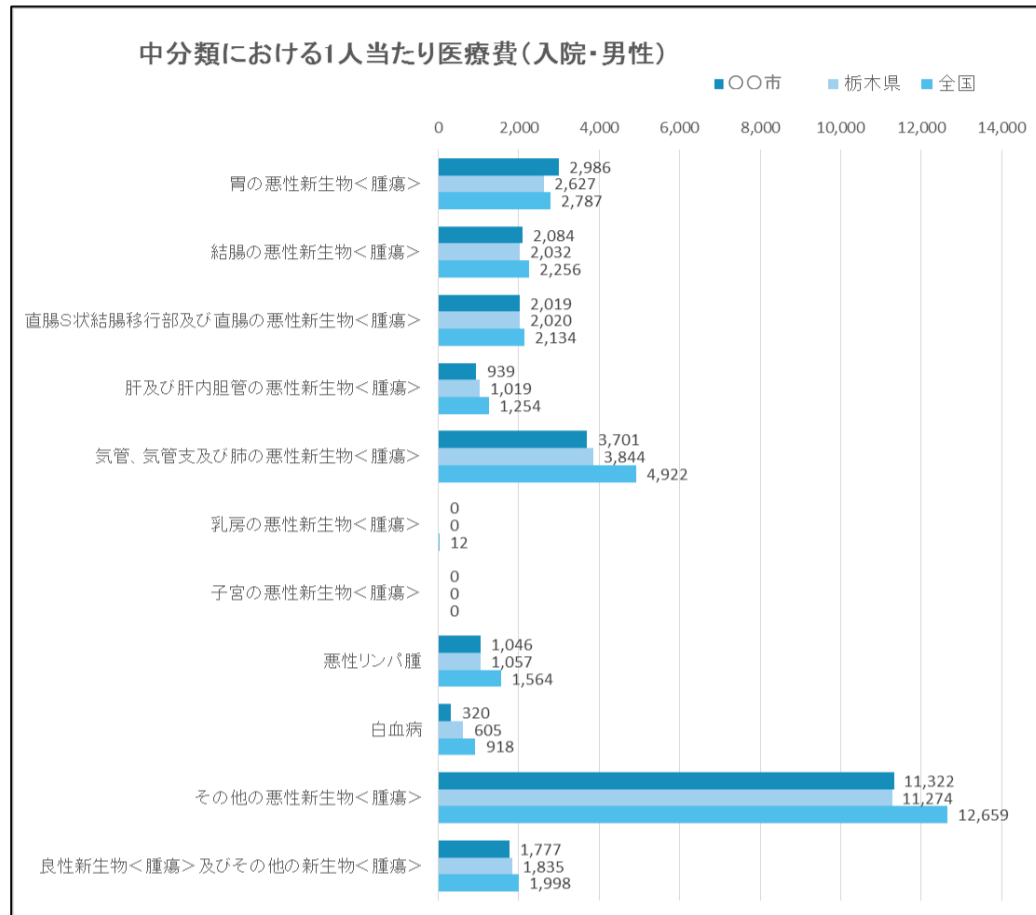
3-2 疾病別(中分類)における1人当たり医療費(男女別、入院外来別)

【説明】

- ・各保険者等におけるがん対策に資するため、基準年度での疾病別(中分類)における「新生物」の1人当たり医療費を男女別、入院外来別で示しています。
- ・疾病別に各保険者等/栃木県/全国の値を表示し比較可能としています。
- ・区分(男女/入外)ごとに標準化比を示すグラフを設けており、各保険者等における各項目値を全値(100)と比較した場合の高低差を読み取ることができます。
(標準化比が100を超える場合は全国よりも高い)

【出典】

国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(中分類)」



3-3 疾病別(生活習慣病)における1人当たり医療費(男女別、入院外来別)

【説明】

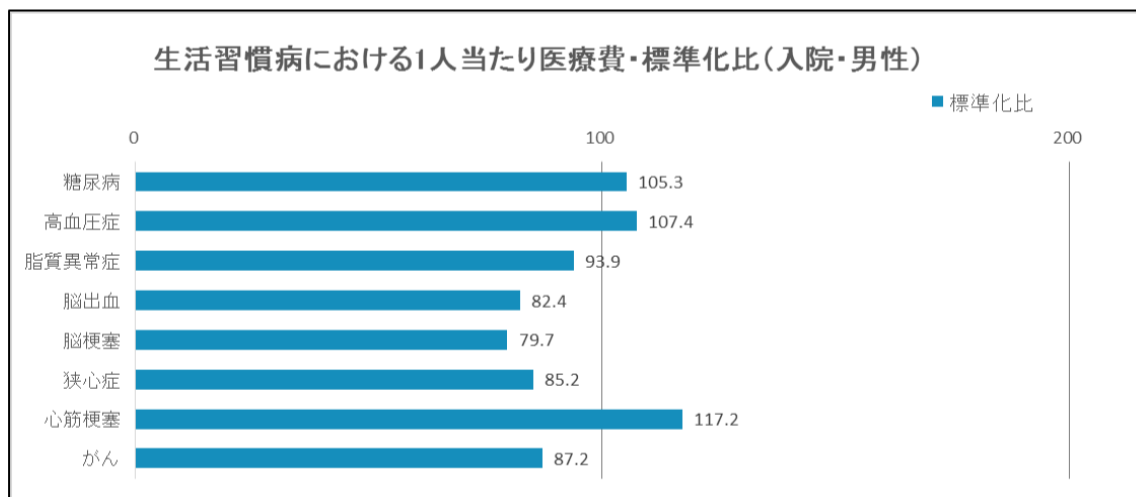
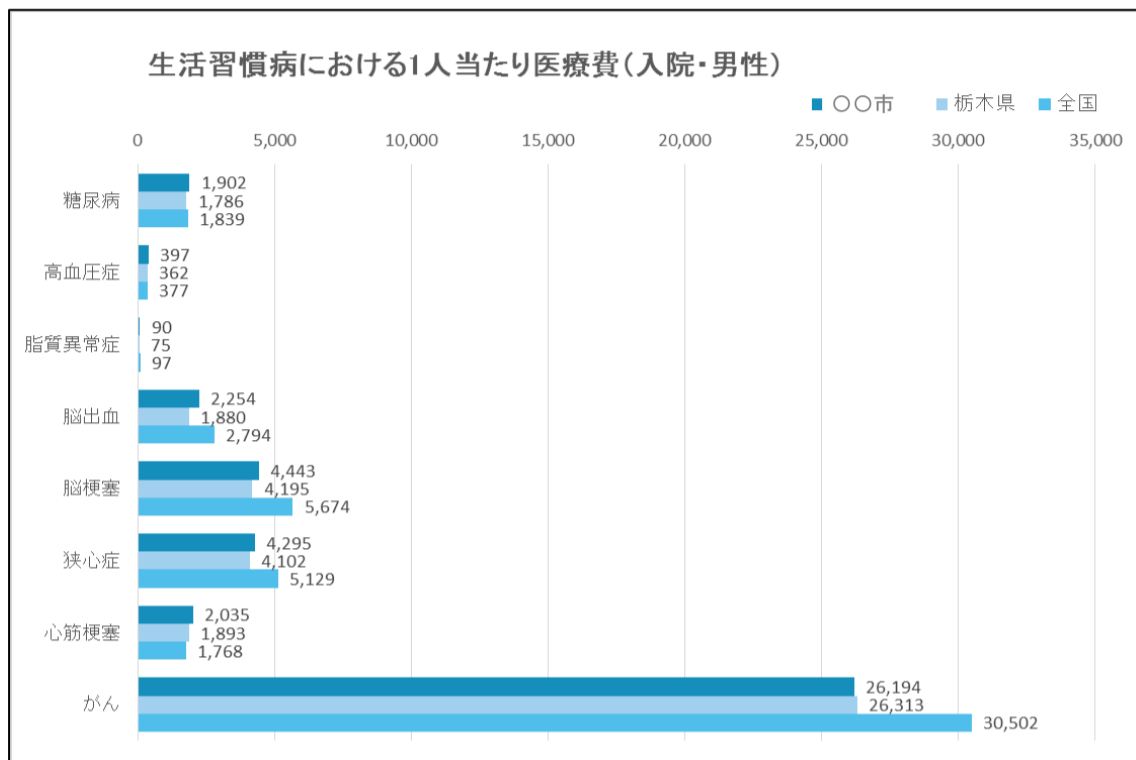
- 各保険者等における生活習慣病対策に資するため、基準年度での疾病別(生活習慣病※)における1人当たり医療費を男女別、入院外来別で示しています。
- 疾病別に各保険者等/栃木県/全国の値を比較することができます。
- 区分(男女/入外)ごとに標準化比を示すグラフを設けており、各保険者等における各項目値を全値と比較した場合の高低差を読み取ることができます。

(標準化比が100を超える場合は全国よりも高い)

※生活習慣病は「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」「脳出血」「脳梗塞」「狭心症」「心筋梗塞」「がん」に区分しています。

【出典】

国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」



3-4 疾病別(細小分類)における1人当たり医療費(男女別、入院外来別)

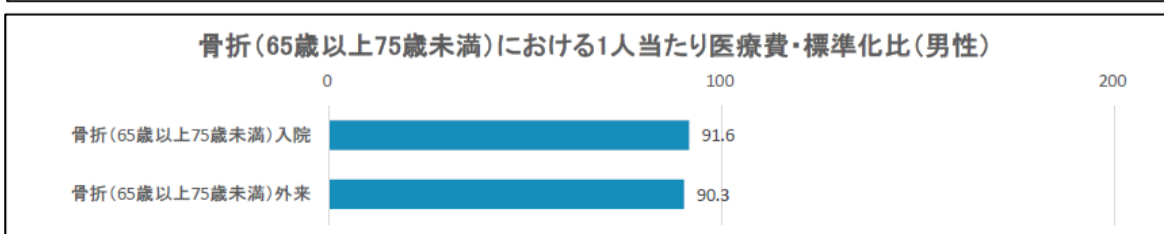
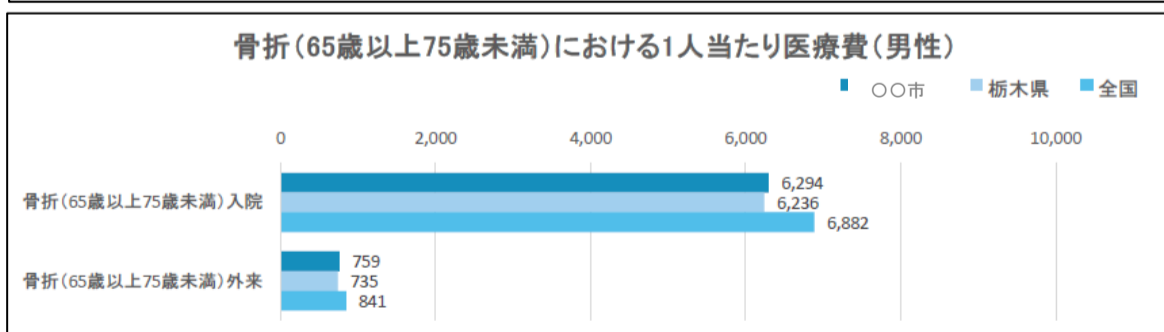
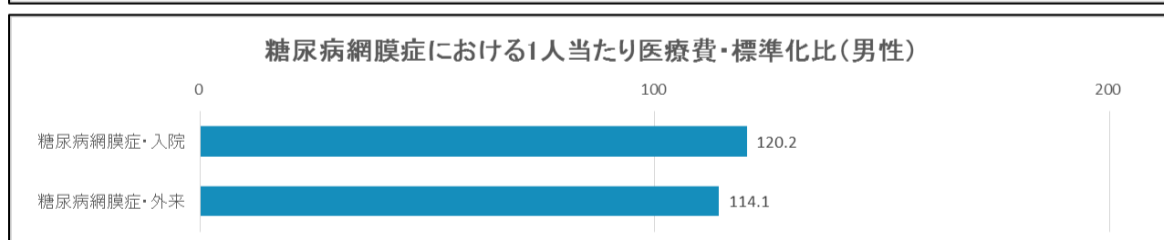
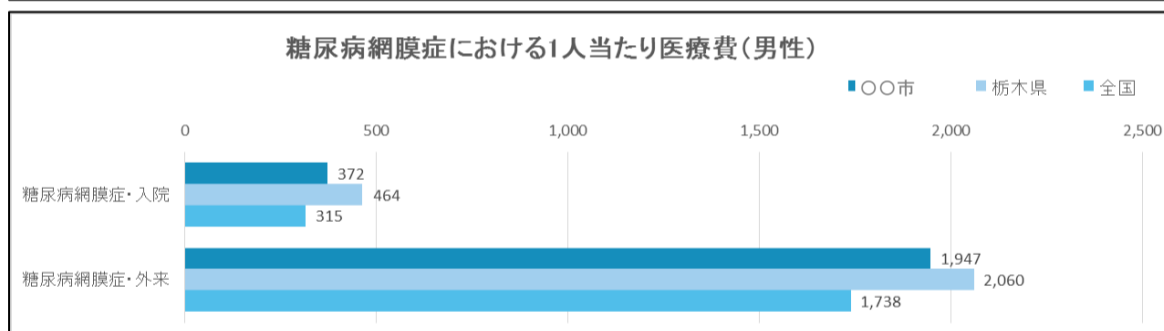
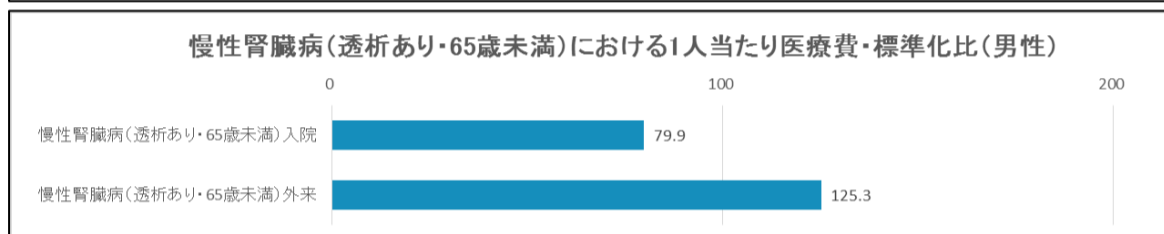
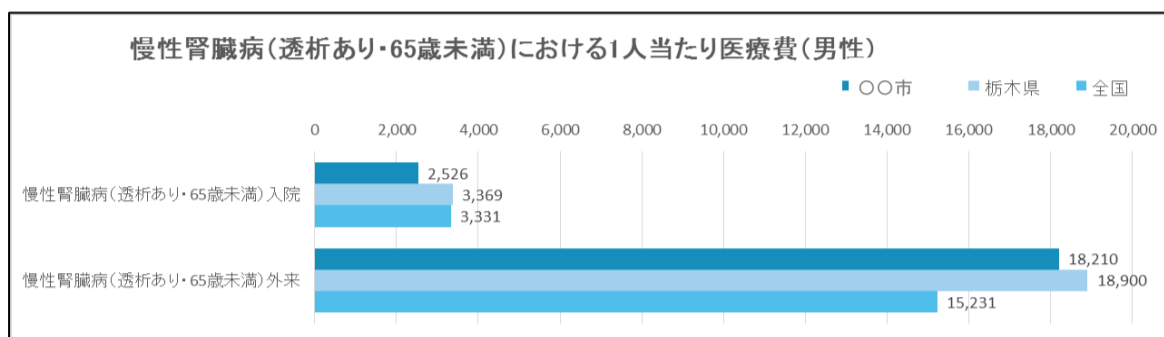
【説明】

- 各保険者等での糖尿病重症化予防への取り組みに資するため、基準年度での疾病別(細小分類)における「慢性腎臓病(透析あり)※」「糖尿病性網膜症」の1人当たり医療費を男女別、入院外来別で示しています。
- 各保険者等でのフレイル予防への取り組みに資するため、基準年度での疾病別(細小分類)における「骨折」の1人当たり医療費を男女別、入院外来別で示しています。
- 疾病別に各保険者等/栃木県/全国の値を表示し比較可能としています。
- 区分(男女/入外)ごとに標準化比を示すグラフを設けており、各保険者等における各項目値を全値と比較した場合の高低差を読み取ることができます。
(標準化比が100を超える場合は全国よりも高い)

※慢性腎臓病(透析あり)の65～74歳については、障害認定により後期高齢者医療に加入する場があり(加入有無は本人が選択できる)、国民健康保険および後期高齢者医療の被保険者が混在することにより、全国平均との正確な比較ができないため集計から省いています。

【出典】

国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(細小分類)」



4. 疾病別(生活習慣病/細小分類)1人当たり医療費の推移(5年分)

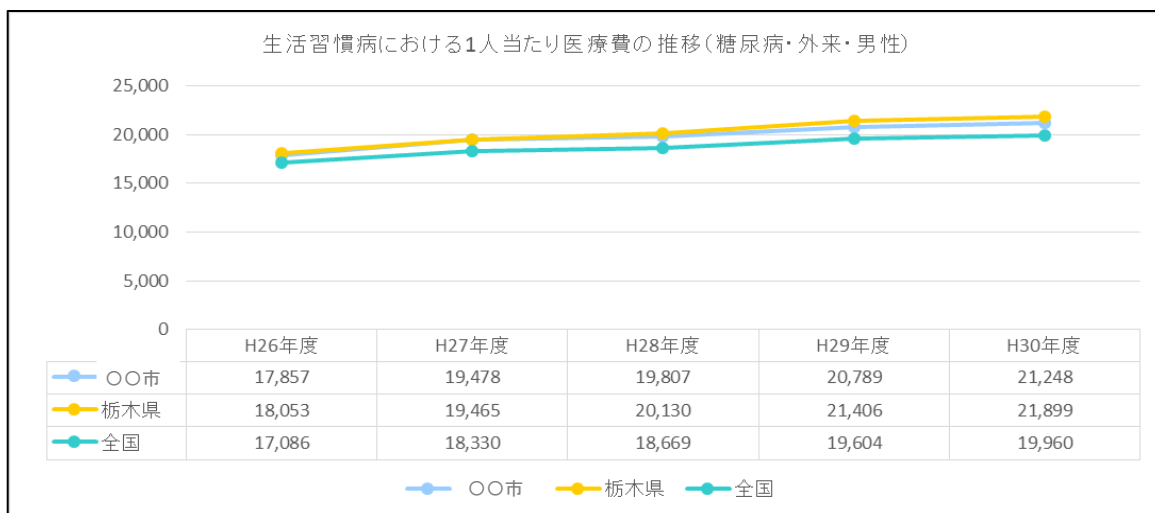
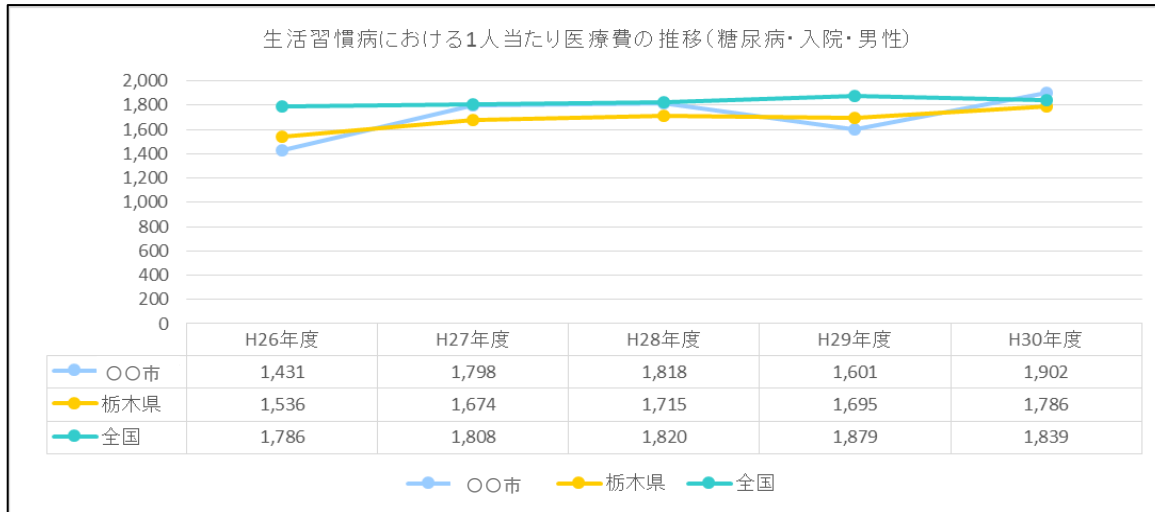
4-1 疾病別(生活習慣病)における1人当たり医療費の推移(男女別、入院外来別)

【説明】

- ・各保険者等における生活習慣病対策に資するため、疾病別(生活習慣病※)1人当たり医療費における過去5年分の推移を男女別、入院外来別で示しています。
 - ・年度ごとに各保険者等/栃木県/全国の値を比較することができます。
- ※生活習慣病は「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」「脳出血」「脳梗塞」「狭心症」「心筋梗塞」「がん」に区分しています。

【出典】

国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」



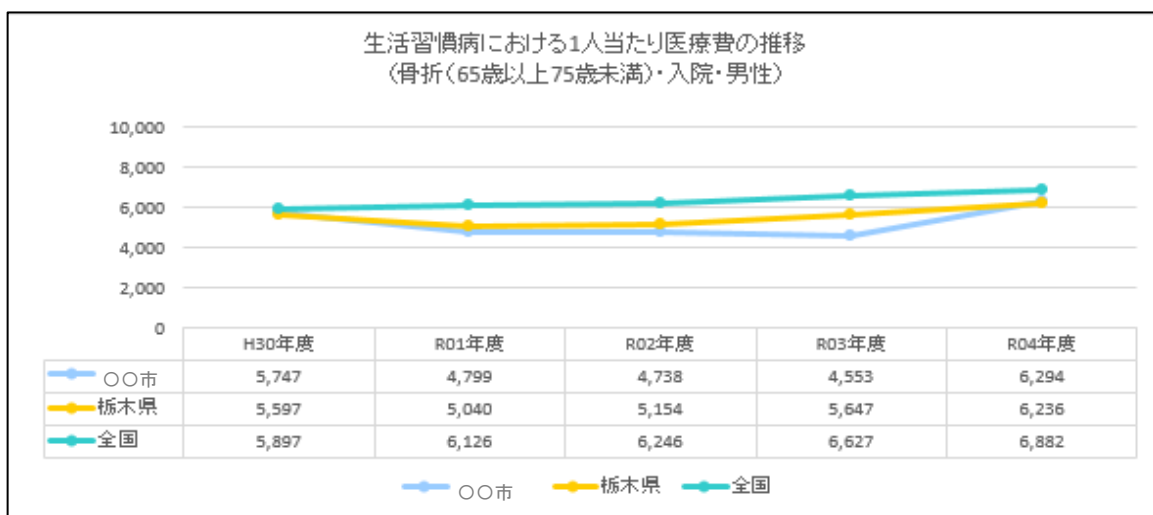
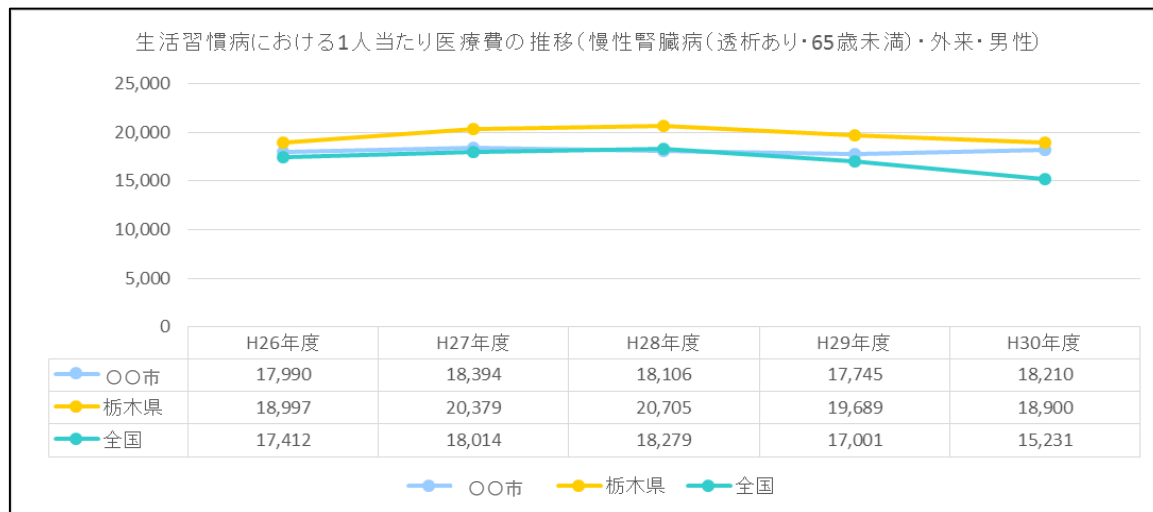
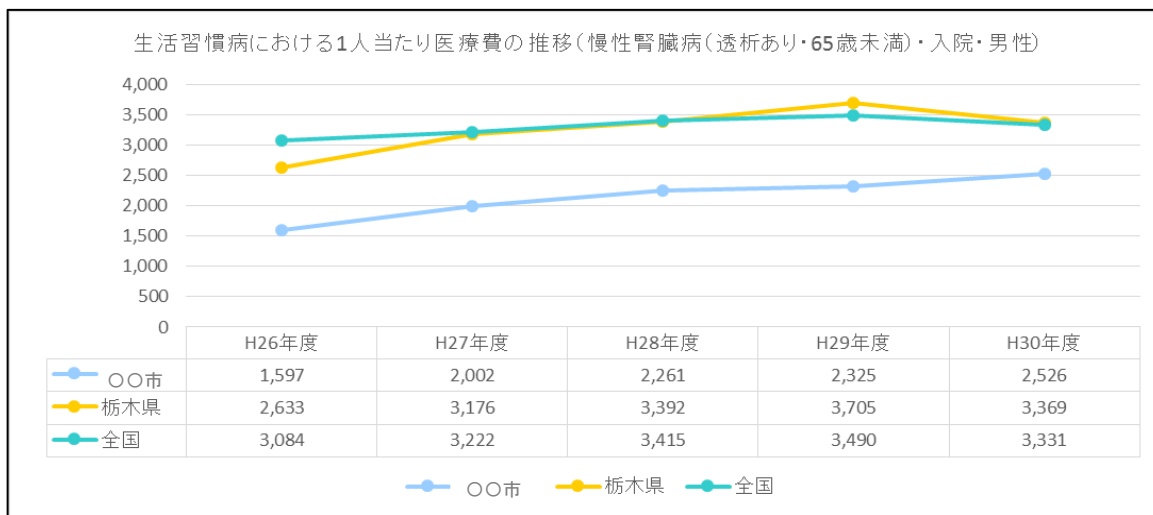
4-2 疾病別(細小分類)における1人当たり医療費の推移(男女別、入院外来別)

【説明】

- 各保険者等での糖尿病重症化予防への取り組みに資するため、疾病別(細小分類)における「慢性腎臓病(透析あり)※」及び「糖尿病網膜症」の1人当たり医療費の過去5年分の推移を男女別、入院外来別で示しています。
 - 各保険者等でのフレイル予防への取組みに資するため、基準年度での疾病別(細小分類)における「骨折」の1人当たり医療費を男女別、入院外来別で示しています。
 - 年度ごとに各保険者等/栃木県/全国の値を比較することができます。
- ※慢性腎臓病(透析あり)の65～74歳については、障害認定により後期高齢者医療に加入する場合があります(加入有無は本人が選択できる)、国民健康保険および後期高齢者医療の被保険者が混在することにより、全国平均との正確な比較ができないため集計から省いています。

【出典】

国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(細小分類)」



5. 死亡数及び標準化死亡比

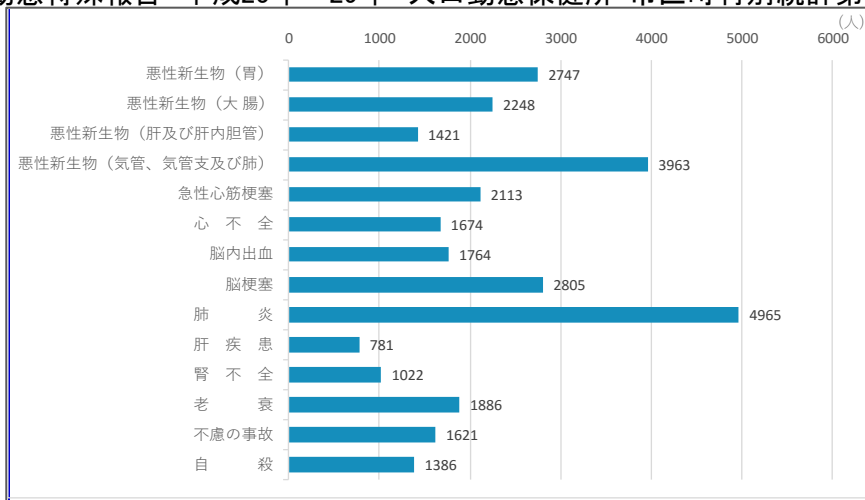
5-1 主要死因別死亡数(男女別)

【説明】

・各保険者等での主要死因の把握に資するため、県・各市町及び二次保健医療圏ごとに、令和元年度に公表された「人口動態特殊報告」における主要死因別死亡数を男女別に示しています。

【出典】

人口動態特殊報告 平成25年～29年 人口動態保健所・市区町村別統計第3表



5. 死亡数及び標準化死亡比

5-2 主要死因別標準化死亡比(ベイズ推定値)(男女別)

【説明】

・各保険者等での主要死因の把握に資するため、県・各市町及び保健二次医療圏ごとに、令和元年度に公表された「人口動態特殊報告」における主要死因別標準化死亡比を男女別に示しています。

・人口規模の小さい地域では、出生数や死亡数の少なさに起因して数値が不安定となるため、小地域の指標の推定に有力なベイズ推定を用いて推定された数値が用いられています。

・各項目値全国と比較した場合の高低差を読み取ることができます。

(標準化死亡比が100を超える場合は全国より高い)

・棒グラフ(上段)と下段(レーダーチャート)は同じデータを元に作成し、表示方法を変えたものです。

【出典】

人口動態特殊報告 平成25年～29年 人口動態保健所・市区町村別統計第5表

